

◆離島活性化交付金等事業計画に記載された事業等のうち、平成29年度に実施するもの

様式1

都道府県名	対象指定地域数:1	筑前諸島地域(馬島、藍島、地島、大島、相島、玄界島、小呂島、姫島)
福岡県	対象離島数:8	

対象指定地域	計画期間	対象離島	市町村	離島振興対策実施地域の活性化に資する事業等で政令で定めるものに関する事項				
				政令で定める事業等(別紙1参照)	実施主体	実施年度	離島振興計画に基づく事業等の内容	うち、平成29年度に実施する事業等の内容
筑前諸島	5年(H25~29)	馬島 藍島	北九州市	E	北九州市 その他の者 (医療機関)	H25~29	医療の確保・充実に関する事業 『島の住民が安心して医療を受けるための体制整備に関する事業』 ・馬島診療所、藍島診療所(へき地診療所)の運営	離島における医療を確保するため、診療所を開設している。 重症患者が発生した場合は、消防指令センターへ連絡し、消防ヘリや消防艇により、本土の医療機関に搬送する体制を整備している。また、藍島においては平成25年6月からTV電話等を用いた遠隔診療を行っている。
		大島	宗像市	E	宗像市 その他の者 (医療機関)	H25~29	医療の確保・充実に関する事業 『島の住民が安心して医療を受けるための体制整備に関する事業』 ・飯塚市立病院(へき地医療拠点病院)による代診医派遣	へき地医療拠点病院による代診医の派遣
		地島 大島	宗像市	F	宗像市	H25~29	離島に居住する妊婦の健康診査受診時・分娩時に係る交通費及び宿泊支援に関する事業 『妊婦の健康診査及び出産のための支援に関する事業:妊婦の健康診査(歯科健康診査含む)及び出産に係る渡船運賃、出産に係る宿泊費の助成』	妊婦の健康診査及び出産時の交通費及び宿泊に係る費用に対し助成(大島・地島で計5人の予定)
		地島 大島	宗像市	G	宗像市	H25~29	島外通学や本土での居住に対する支援に関する事業 『離島高校生修学支援事業:渡船を利用して通学する者又はその保護者に対する宗像市渡船通学定期券購入費補助等、子どもの修学支援』	渡船を利用して通学する者又はその保護者の渡船通学定期券購入に係る費用に対し助成(地島、大島合計7人の予定)
		地島 大島	宗像市	H	宗像市	H26~29	離島と他の地域との間の交流の促進に関する事業 『離島遊休地活用事業』	遊休地に景観作物を植栽することにより交流人口の拡大や観光の入込客の増加を図る。
筑前諸島	5年(H25~29)	地島 大島	宗像市	H	宗像市	H26~29	離島に関する地域情報の発信に関する事業 『情報発信強化事業:渡船ターミナル施設、HP等の観光情報発信機能の強化』	離島の交流や観光に係る情報を集約し、発信する仕組みづくりに取り組む。島外(市内、都市部)イベントへの出展や、島内イベントの実施、特産品や土産物など観光情報のPRを強化する。
		地島	宗像市	H	宗像市	H26~29	観光の振興に関する事業 『漁村民泊による交流・体験事業:体験・交流と運動した漁村(漁家)民泊』	新たな交流プログラム、島内宿泊の検討のため、漁村民泊事業を実験的に実施する。
		地島 大島	宗像市	J	宗像市	H25~29	定住促進に関する事業 『空き家活用による田舎暮らし体験事業:空き家を活用した短期の田舎暮らし体験事業』	事業に必要な空き家の調査、田舎暮らし体験の内容協議
		相島	新宮町	E	新宮町 その他の者 (医療機関)	H25~29	医療の確保に関する事業 『島の住民が安心して医療を受けるための体制整備に関する事業』 ・相島診療所(へき地診療所)の運営 ・九州病院及び飯塚市立病院(へき地医療拠点病院)による代診医派遣	相島診療所の運営:医師1名、看護師1名、事務1名で運営。月曜日から土曜日まで開院し、夜間及び休日の急患にも対応。 代診医派遣:医師の技能向上のため、週1回近隣の総合病院で研修。研修日の医療を確保するため、代診医の派遣を依頼している。
		相島	新宮町	F	新宮町	H26~29	離島に居住する妊婦の健康診査受診時・分娩時に係る交通費及び宿泊支援に関する事業 『相島に居住する妊婦が健康診査を受診するために必要な交通費の支援を行う事業』	妊婦の健康診査及び出産時の交通費及び宿泊に係る費用に対し助成(2人の予定)
		相島	新宮町	G	新宮町	H26~29	島外通学や本土での居住に対する支援に関する事業 『離島高校生修学支援事業:相島区出身の生徒の通学に要する経費の全部又は一部を生徒の保護者に対して補助する事業』	離島から国立・県立または私立高等学校に進学する高校生に係る通学費、居住費の支援(県立4人、私立2人予定)
		相島	新宮町	H	新宮町	H29	離島振興全般に関する事業 『活力を生み出す事業:相島活性化プランの策定、事業運営組織の構築』	・活性化プランの策定 ・プラン実現に向けた社会実験等 ・ブランド化、直売イベント、漁村留学、体験型民泊、空き家調査・活用方法の検討 ・拠点施設の検討 ・事業運営組織の構築
相島	新宮町	H	新宮町	H29	観光の振興に関する事業 『新宮町ピナーズインダストリーの推進』	地域内商品開発・ブランド化、インバウンド対策(案内看板設置案、内動画作成)、観光交流拠点施設を活用した観光案内、お土産販売カフェの運営など		
筑前諸島	5年(H25~29)	玄界島	福岡市	C	福岡市	H27~29	水産業の持続的な発展に関する事業 『漁業生産力の向上、創意工夫ある取り組みにより、地域漁業の活性化を図る事業』	・アワビの稚貝の放流、放流効果検証 ・アワビの養殖 ・漁場監視及び漁場改善 ・小型定置網漁業の操業
		玄界島	福岡市	E	福岡市	H25~29	医療の確保に関する事業 『島の住民が安心して医療を受けるための体制整備に関する事業:玄界診療所(へき地診療所)の運営』	玄界診療所の運営
		玄界島 小呂島	福岡市	F	福岡市	H27~29	離島に居住する妊婦の健康診査受診時・分娩時に係る交通費及び宿泊支援に関する事業 『玄界島に居住する妊婦が健康診査を受診するために必要な交通費・宿泊費等の支援を行う事業』 『小呂島に居住する妊婦が健康診査を受診するために必要な交通費・宿泊費等の支援を行う事業』	妊婦の健康診査及び出産時の交通費及び宿泊に係る費用に対し助成
		玄界島 小呂島	福岡市	G	その他の者 (福岡市教育振興会)	H25~29	島外通学や本土での居住に対する支援に関する事業 『本土に居住している高校生を対象とした保護者負担軽減のための住居費の一部を補助する事業』	本土で寄宿する高校生に対して、住居費の一部として月額14,000円を(公財)福岡市教育振興会を通じ補助する。 補助対象予定人数:玄界島3名、小呂島3名
		大島 相島 玄界島 姫島	宗像市 新宮町 福岡市 糸島市	G	福岡県	H25~29	島外通学や本土での居住に対する支援に関する事業 『高等学校への通学に係る通学費、居住費を軽減する事業』	離島から県内県立または私立高等学校に進学する高校生に係る通学費、居住費の支援 大島:県立3人、私立1人 相島:県立4人 玄界島:県立1人、私立1人 姫島:県立3人